

平成 28 年度 中郷小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会のまとめ

作成：三島市役所地域安全課きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

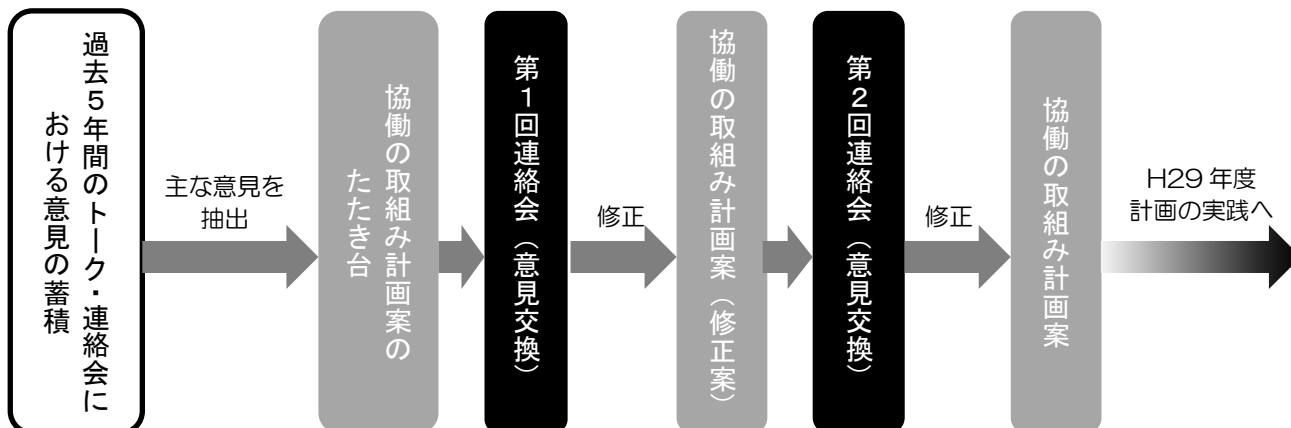
7月5日（火）に開催された「中郷小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。

※市のホームページにも掲載しています。

■開催概要■

日 時	平成 28 年 7 月 5 日（火）19:00～20:40		
会 場	中郷文化プラザ		
参加団体 (20名)	八反畑町内会 鶴喰自治会 安久町内会 交通安全母の会 中郷小学校	中郷西中学校 中郷西中学校PTA 中郷小学校支援地域本部 スポーツ推進委員 体育振興会	地域安全推進員 保健委員会 民生委員・児童委員 中郷地区地域包括支援センター 保護司会

■今年度の連絡会の流れ（予定）■



地域の情報交換のまとめ

●連絡会の中で、地域の皆さんに知ってほしいことや協力を仰ぎたいことなどを共有しました。

～各団体/より校区の皆さんへ、情報提供&ご協力をお願い～

- ◆中郷小学校支援地域本部：今年度設立。保護者、地域、学校の連携を図る。ボランティア募集中。
- ◆体 育 振 興 会：6/26 体育祭、7/24 ドッジボール、7/31 ボーリング、10/23 グラウンドゴルフ、1/22 ソフトバレーボール大会を開催。ぜひご参加下さい。
- ◆スポーツ推進委員：10/30 親子ふれあいティーボール大会を開催。子ども大人も一緒に！
- ◆保 護 司 会：7月「社会を明るくする運動」期間。小中学生が書いたポスター展開催中。
- ◆中 郷 西 中 学 校：9/24 運動会(農兵節)、11/26 教育講演会。地域の方もご参加下さい。
- ◆八 反 畑 町 内 会：10/16 稲荷神社祭典。地元の企業を含め大勢の参加促進に向け計画中。
- ◆八 鶴 悠 和 会：年 4 回親睦例会。会員増と活動がマンネリ化しないよう努めている。
- ◆中郷小学校PTA：見回り(年 10 回)、登校時の旗振り(通年)を実施。登下校や夏休みなど危険がないよう、特に一人での子どもへの声かけをお願いします。
- ◆エ コ リ ー ダ ー：地区のウォークラリーを行ったらどうか？郷土を知ることができる。

意見交換のまとめ

- 第1回連絡会では、2つのグループに分かれて計画案のたたき台に関する意見交換をしました。
- この結果をもとに協働の取組み計画案を修正し、第2回連絡会で皆さんに再びご意見をいただく予定です。

こんな小学校区にしたい

【Aグループ】

● 顔が見える・世代間交流

- ・住んでいる人はみんな友だち中郷小学校区
- ・顔見知りになる
- ・皆の顔が見える中郷
- ・young から old までつながりのある中郷小学校区

● あいさつ・声掛け

- ・未来への希望と笑顔のある小学校区、誰とも声を掛け合える
- ・あいさつから始まる地域
- ・いつもあいさつが交わし合える

● その他

- ・和
- ・郷土愛
(ゆくゆくは家族を連れて帰る)
- ・親も参加
- ・相互理解、組織を超えて！

【Bグループ】

● 顔が見える・世代間交流

- ・子ども達と会話をしよう
- ・世代間を超えた小学校区
- ・子どもから大人までみんな元気なまち
- ・子どもから大人までみんなで築くまち中郷
- ・子どもから高齢者まで顔の見える地域
- ・つながりがある
- ・地域の各団体、責任者、大人、子ども、全ての人達が認め合い、尊敬し合えるコミュニティの構築

● 笑顔・明るい

- ・笑顔
- ・いつも元気で明るい笑顔
- ・明るい小学校区

● その他

- ・地域作りは私達の原点、もう一度考えよう
- ・居心地の良い地域
- ・地域に帰る
- ・安全

お困りごと・現在の状況

	A グループ	B グループ
災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・中郷小地区はきずなの強い地域。 ・今年、中郷西中学校避難所は市の防災訓練の担当になっている。関係する方々と協力し、盛り上げたい。 	
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会は無いが、代わりに子どもクラブを作った。(安久) ・健全育成会が子ども会の活動を担っている。(梅名) ・子ども達を集める情報を知りたい。昔は子ども会があり、集めやすかったが、声を掛ける場所が減った。 ・地域行事への応募用紙を小学校に置かせてもらっても、集まらない。 ・小中学生の登下校の見守りについて <ul style="list-style-type: none"> ①見守る人の不足 ②複数の組織が別々に行動している。 ・あいさつが良くできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会は親の役員負担が問題になる。 ・役員をやるのが嫌だと言う。 ・7年前、子どもクラブを立ち上げた。 ・子どもクラブは、町内会全ての子ども達が対象。会費なし。 ・子どもクラブに町内会が資金支援している。 ・地域からの依頼に中学生が協力する「<u>地域 VS (ボランティアサービス) 活動</u>」を今年から始めた。(中郷西中) ・スポーツ少年団が試合優先で、地域の活動への協力が無い。 ・学校の活動に地域住人が協力してくれている。(他校区の事例)

取組みたいこと

子どもたちとともに災害に備えよう		
	A グループ	B グループ
子ども	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が表現できる状況を作る。 自主防の参加への誘導。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 地域外から来ている帰宅難民になる方の避難や対応について。 	

地域内の交流を深めよう		
	A グループ	B グループ
あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 親子一緒の時にあいさつすると良い。子ども一人の時より、不審者と怪しまれない。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から積極的にお互いあいさつをして、顔見知りを増やす。(声掛け、あいさつ)
子どもとの交流	<ul style="list-style-type: none"> もっと子ども達と身近になる取組み。 子どもを中心に、地域行事への参加促進。 新しく来た住人と古くからの住人の交流は、子どもを通じてもたらせる。 お土産で釣ると良い。(例：ポン菓子) 	<ul style="list-style-type: none"> 不審者が多く、保護者は敏感。 →子どもが地域の活動に参加して、住人を認識すべき。
相互理解	<ul style="list-style-type: none"> どうなりたいのか具体的に明確にすること！相互理解。(例：地域の企業が職業訓練に協力する。郷土を知るウォークラリーを行う等) 地域内の個々の組織が協力する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各団体の意見交換は必要。6カ月に1回は開催しては？ 地域を知るためのウォークラリー。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 地域のルール(ゴミ出し等)をしっかりと知ってもらう。 	

子どもたち（と高齢者）を地域で支えよう		
	A グループ	B グループ
かけこみ 110 番	<ul style="list-style-type: none"> 子どもかこけみ 110 番の家。子どもたちの身近になる取組み。 かけこみ 110 番の家のことを知る。住民の顔や家族構成など、もう少し詳しく。 他校区では、ウォークラリー方式で 110 番の家を訪問している。 	
子ども会 & 子どもクラブ	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会役員の良い点も、伝えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会の存続で困っている人がいれば、相談してください。(吉村さん) 市子連と協力する。
保護者	<ul style="list-style-type: none"> 子どもだけの参加を OK にすると、親も来るようになる。 →保護者を地域活動に引き込む。 幼児から参加可能としたところ、小学生より小さい子の親の参加が多い。今後のコミュニケーションにつなげたい。 	
スポーツ 少年団		<ul style="list-style-type: none"> スポーツ少年団で地域活動に参加してほしい。
こども 食堂		<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭など仕事などの理由で、子どもに食事など負担がかかり、非行に走る場合がある。子ども食堂などで見守りを。
後継者 (中学生) を育てる	<ul style="list-style-type: none"> 「中学生＝地域の後継者」なので、中郷小校区の強いきずなを今後も続けていくためには、後継者作りが必要。 失敗を恐れずに、中学生を祭典、行事などの運営に関わらせてほしい。 中学生に多くの経験をさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校単位、学年単位で地域活動に参加してもらおう。
子ども + 高齢者		<ul style="list-style-type: none"> 子どもと高齢者の交流。子ども会と老人会が協力し合って、行事を行う。(おばあちゃん&おじいちゃんと孫)。 子どもたちや高齢者を地域で支えよう！核家族の子と独居高齢者がお互い行き来できないか？ 高齢者は、支援されるだけでなく、する側になる。 将棋など、趣味を生かしたボランティア。 趣味の活動を見守りにつなげる。 高齢者の居場所づくり。 学校でやらせないことをやらせる。

意見交換の結果を踏まえた「きずながつくる協働の取組み計画案」の修正の主なポイント

◆こんな小学校区にしたい

- ・多世代をイメージする言葉を用いる。
- ・「笑顔」や「あいさつ」、「明るい」、「希望」などの言葉を用いる。

◆お困りごと・現在の状況

- ・小中学生の登下校の見守りの課題について追記する。
- ・中郷西中で地域からの依頼に中学生が協力する「地域 VS（ボランティアサービス）活動」を今年から始めたことを追記する。

◆取組みたいこと

<子どもたちとともに災害に備えよう>

（特になし）

<地域内の交流を深めよう>

- ・地域のことを知り、住民同士の親睦を深めるウォークラリーの開催を検討する旨を追記する。
- ・スポーツ少年団に地域の行事への参加を依頼する旨を追記する。

<子どもたち（と高齢者）を地域で支えよう>

- ・見出しを「子どもたちと高齢者を地域で支えよう」に修正する。
- ・高齢者の居場所づくりや高齢者と子どもの交流などの検討について追記する。